



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月5日

上場会社名 ジャパンフーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2599 URL http://www.japanfoods.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細井 富夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 尾上 晋司 TEL 0475-35-2211  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,927	△4.9	375	△48.3	412	△27.1	306	△10.2
2019年3月期第3四半期	12,544	8.0	726	△30.2	565	△50.9	341	△57.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 193百万円 (△47.3%) 2019年3月期第3四半期 367百万円 (△56.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	63.58	—
2019年3月期第3四半期	70.81	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,984	7,921	41.7
2019年3月期	19,811	7,858	39.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,921百万円 2019年3月期 7,858百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	17.00	27.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	1.3	700	△8.7	720	5.8	450	—	93.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	5,100,000株	2019年3月期	5,100,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	277,113株	2019年3月期	277,113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	4,822,887株	2019年3月期3Q	4,822,888株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての内容等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税の増税があり企業収益や景気に足踏み感が出てきているものの、雇用・所得環境は堅調に回復し、政府の経済対策や企業の設備投資などにより、緩やかな回復基調で推移しております。

一方、世界経済においては、米中間の通商問題は一時的に沈静化しているものの、中国経済の減速懸念、日韓問題、中東情勢緊迫など先行き不透明な状況となっております。

国内飲料業界におきましては、改元に伴う大型連休の需要増などがあったものの、6月の天候不順による気温の低下、7月の関東圏での長雨や日照不足、また各地に大きな被害をもたらした9月、10月の大型台風や豪雨などの影響により、業界全体の販売数量は、前年同期比2%減(飲料総研調べ)となりました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は11,927百万円(前年同期比4.9%減)、営業利益は375百万円(前年同期比48.3%減)、経常利益は412百万円(前年同期比27.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は306百万円(前年同期比10.2%減)となりました。

当社グループでは、新中期経営計画のスタートを機に、企業理念及び経営ビジョンを新たに、「からだ・こころ・未来をうるおす。ジャパンフーズ」というスローガンを掲げ、「人が第一」の考えのもと、不透明な外部環境のものともせず未来に向けて成長を続ける「100年企業」の実現に向け、新中期経営計画「“JUMP++2021” - 次のステージへ -」を実行していきます。

当年度におきましても、ブランド価値を意識した飽くなき品質向上の追求を行い、生産効率向上、厳格なコスト管理及び省エネや物流への対策等による経費削減の徹底を致します。また業界各社の需要変化にいち早く対応し、収益アップを図り、「全員躍動」をキーワードに、社員ひとりひとりが、自ら考え行動する「自立自発」の意識を持ち、生き生きとして、勢いのある会社を目指してまいります。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更した後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### (国内飲料受託製造事業)

国内飲料受託製造事業につきましては、積極的な受注活動を行った結果、第1四半期は順調に推移したものの、第2四半期の関東圏の長雨や日照不足、また各地に大きな被害をもたらした第3四半期の大型台風や豪雨などの影響などが大きく、当第3四半期連結累計期間における受託製造数は32,810千ケース(前年同期比0.7%減)、売上高は11,796百万円(前年同期比4.7%減)、セグメント利益は358百万円(前年同期比47.3%減)となりました。

#### (海外飲料受託製造事業)

海外飲料受託製造事業(連結対象期間:2019年1月から9月期)につきましては、セグメント利益は16百万円(前年同期はセグメント損失168百万円)となりました。

#### (その他の事業)

水宅配事業(連結対象期間:2019年4月から12月期)につきましては、売上高は120百万円(前年同期比24.1%減)となりましたが、一部配送業務の内製化などによる経費の削減効果により、セグメント利益は21百万円(前年同期比20.1%減)となりました。

なお、コアセグメント(国内飲料受託製造事業)の総合スクラップ&ビルド計画のフェーズ2である工場建屋・SOT缶ライン新設工事が開始されたことに伴い、2019年9月からボトルドウォーターの製造ラインを休止しました。その結果、10月より外注へ変更したことにより、ボトルドウォーターの仕入コストが上がっております。

水宅配フランチャイズ事業(連結対象期間:2019年2月から10月期)につきましては、セグメント利益は11百万円(前年同期比42.6%減)となりました。

セグメントごとの対前年同四半期比較(累計)は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

		前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増減額	(増減率)
国内飲料 受託製造	売上高	12,372	11,796	△576	(△4.7%)
	セグメント損益	680	358	△322	(△47.3%)
海外飲料 受託製造 (注1)	売上高	—	—	—	(—)
	セグメント損益	△168	16	184	(—)
その他	売上高	175	135	△39	(△22.5%)
	セグメント損益	53	37	△15	(△28.9%)
調整額	セグメント損益	△0	△0	△0	(—)
四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)	売上高	12,544	11,927	△616	(△4.9%)
	セグメント損益	565	412	△153	(△27.1%)

(注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、3,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ800百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が増加したものの、電子記録債権や売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は、15,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは主に、建設仮勘定が増加したものの、建物及び構築物、機械装置及び運搬具の減価償却による簿価の減少や投資有価証券の売却による減少、長期前払費用の減少などによるものであります。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、4,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ254百万円減少いたしました。これは主に、未払金が増加したものの、買掛金や未払法人税等、未払消費税等が減少したことによるものであります。

固定負債は、6,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ635百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金金の減少によるものであります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、7,921百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少があったものの、利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想については、2019年10月25日に公表しました予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	830,467	1,201,235
電子記録債権	843,663	723,484
売掛金	2,601,935	1,491,389
商品及び製品	29,902	16,925
原材料及び貯蔵品	124,474	124,215
前払費用	132,679	200,493
未収還付法人税等	—	1,656
その他	27,413	30,741
流動資産合計	4,590,537	3,790,141
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,793,604	12,211,891
減価償却累計額	△7,222,921	△6,821,892
建物及び構築物(純額)	5,570,683	5,389,999
機械装置及び運搬具	29,866,498	27,864,705
減価償却累計額	△23,397,967	△22,281,149
機械装置及び運搬具(純額)	6,468,530	5,583,556
工具、器具及び備品	911,639	936,636
減価償却累計額	△663,891	△705,854
工具、器具及び備品(純額)	247,748	230,781
土地	484,898	484,898
リース資産	58,950	60,870
減価償却累計額	△29,796	△33,799
リース資産(純額)	29,154	27,071
建設仮勘定	69,946	1,275,733
有形固定資産合計	12,870,961	12,992,039
無形固定資産	337,758	334,298
投資その他の資産	2,012,172	1,867,608
固定資産合計	15,220,892	15,193,947
資産合計	19,811,429	18,984,088

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,108,268	794,669
1年内返済予定の長期借入金	948,532	998,932
リース債務	7,839	8,601
未払金	1,444,691	2,040,753
未払費用	48,044	46,306
未払法人税等	164,071	24
未払消費税等	356,737	65,185
預り金	43,954	62,289
賞与引当金	144,329	71,203
役員賞与引当金	18,375	40,118
固定資産撤去費用引当金	98,000	—
その他	324	338
流動負債合計	4,383,168	4,128,422
固定負債		
長期借入金	6,023,136	5,273,937
リース債務	25,889	21,307
固定資産撤去費用引当金	831,200	831,200
退職給付に係る負債	159,939	163,403
資産除去債務	529,742	644,311
固定負債合計	7,569,908	6,934,159
負債合計	11,953,076	11,062,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,800	628,800
資本剰余金	272,400	272,400
利益剰余金	6,702,700	6,879,132
自己株式	△264,624	△264,624
株主資本合計	7,339,276	7,515,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256,209	176,293
為替換算調整勘定	277,248	244,611
退職給付に係る調整累計額	△14,380	△15,107
その他の包括利益累計額合計	519,076	405,797
純資産合計	7,858,353	7,921,505
負債純資産合計	19,811,429	18,984,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	12,544,125	11,927,958
売上原価	10,089,215	9,569,287
売上総利益	2,454,909	2,358,671
販売費及び一般管理費	1,728,437	1,983,058
営業利益	726,472	375,612
営業外収益		
受取配当金	2,487	2,462
保険配当金	4,189	3,457
持分法による投資利益	—	27,354
補助金収入	—	13,880
その他	13,050	21,082
営業外収益合計	19,728	68,236
営業外費用		
支払利息	28,194	24,533
持分法による投資損失	148,251	—
その他	4,361	7,308
営業外費用合計	180,807	31,841
経常利益	565,392	412,008
特別利益		
投資有価証券売却益	—	62,108
固定資産売却益	499	12,571
固定資産撤去費用引当金戻入益	—	22,653
特別利益合計	499	97,332
特別損失		
減損損失	—	3,015
災害による損失	—	16,803
固定資産撤去費用	—	38,717
特別損失合計	—	58,536
税金等調整前四半期純利益	565,892	450,804
法人税等	224,397	144,154
四半期純利益	341,494	306,650
親会社株主に帰属する四半期純利益	341,494	306,650



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	341,494	306,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,666	△79,915
退職給付に係る調整額	27,998	△727
持分法適用会社に対する持分相当額	△23,132	△32,636
その他の包括利益合計	25,532	△113,279
四半期包括利益	367,027	193,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	367,027	193,370

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内飲料 受託製造	海外飲料 受託製造 (注1)	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,372,970	—	12,372,970	171,155	12,544,125	—	12,544,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	4,138	4,138	△4,138	—
計	12,372,970	—	12,372,970	175,294	12,548,264	△4,138	12,544,125
セグメント利益又は 損失(△)	680,640	△168,470	512,170	53,356	565,526	△134	565,392

(注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。

2. 「その他」の区分は、水宅配事業及び水宅配フランチャイズ事業等を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失の調整額△134千円は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

4. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内飲料 受託製造	海外飲料 受託製造 (注1)	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,796,109	—	11,796,109	131,848	11,927,958	—	11,927,958
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	4,009	4,009	△4,009	—
計	11,796,109	—	11,796,109	135,858	11,931,968	△4,009	11,927,958
セグメント利益	358,401	16,152	374,553	37,922	412,475	△466	412,008

- (注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。  
 2. 「その他」の区分は、水宅配事業及び水宅配フランチャイズ事業等を含んでおります。  
 3. セグメント利益の調整額△466千円は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。  
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 (固定資産に係る重要な減損損失)

記載すべき重要な事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、業績管理区分の変更により、従来「国内飲料受託製造」事業に含まれていた事業の一部を「その他」に区分変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「国内飲料受託製造」事業で16,018千円増加し、「その他」が15,704千円、「調整額」が313千円減少しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。